



明和病院だより



2018年2月号

(1) 医師から皆様へ 《めまいの話》

1.めまい、ふらつきはどうして起こるのでしょうか？

立ち上がる、歩く、振り返る、階段を上り下りする。普段、特に意識することなく私たちが動くことができるのは、体に備わった「平衡機能」が十分働いているからです。「平衡機能」は目(視覚)、足の裏(深部感覚)、耳(前庭)からの情報が小脳に集まり、それを大脳が取りまとめ、全身に指令を出すことで保たれています。何らかの原因によりこの機能が低下すると目が回る、またはふらつくという状態になります。

2.めまいを起こす代表的な病気を知しましょう。

【耳が原因のめまい】

①良性発作性頭位めまい症

耳から起こるめまいの中で、最も多い病気です。この病気は前庭内にある耳石が外れて半規管の中に入り込んでコロコロと動き回るために起こります。半規管から耳石が出てしまえば、めまいはピタッと治まります。その後はどんな検査をしても異常はありません。この病気によくある間違いは、「安静が必要」と思いこんで、一日中寝ていることです。積極的に頭を動かした方がめまいは早く治ります。



②メニエール病

回転性めまい・難聴・耳鳴りを繰り返すことが特徴です。この病気の原因は内耳がむくんでしまうことです。むくみがひどくなると、数時間から1日のめまいが起こります。同時に難聴が起こりますが、発作を繰り返すと階段状に聴力が低下する可能性があります。根気よく治療する必要があります。

③前庭神経炎

この病気の特徴はめまいの持続時間が長いことです。数日間にわたって回転性めまい、嘔気が続きます。その後も軽いめまいが数ヶ月続くことがあり、なかなかすっきりしません。聞こえの障害や耳鳴りはありません。原因はウイルスの感染と考えられています。

【頭が原因のめまい】

・脳卒中(脳出血、脳梗塞)

めまいと同時に半身の運動麻痺やしびれ、ろれつが回らないなどが出現することが特徴です。また、頭痛や首の痛みが伴うこともあります。めまい、嘔気以外の症状がある場合は冷静に状態を判断することが大切です。

【その他のめまい】

①頸性めまい

後頭部から首の付け根にかけて強いこりや張りがあり、立ったり歩いたりすると、

ふわふわとしためまいを感じます。首の骨(頸椎)の問題から起こるもので、適度な運動により肩こりの解消に努めることが最も重要です。

②血圧の変化(起立性低血圧、高血圧)

頭の高さを変えたとき、クラッと立ちくらみが起こります。じっとしていると徐々に軽くなりますが、繰り返すことが多いのが特徴です。

耳鼻咽喉科 医師 奥中 美恵子

(2) 健康講座のお知らせ ※無料、参加自由

- ・演題：それって、ほんま？「睡眠薬とは？後編」
- ・講師：非常勤医師 谷田 憲俊
- ・日時：2月15日(木) 14:00~14:50
- ・場所：明和病院 南館5階 明和ホール東



(3) 医療講座(公民館主催)のお知らせ

- ・演題：白内障について
- ・講師：眼科部長 田中 久子
- ・日時：2月2日(金) 14:00~15:30
- ・場所：高須公民館(Tel 49-1312) ※無料(参加自由)



(4) 明和病院ラジオコーナーのお知らせ♪



ラジオ大阪(AM1314・FM91.9)にて、毎週土曜日午前7時15分から『桑原あずさの as life(アズライフ)』内で明和病院の職員が出演するコーナー“ワンポイントホスピタル”が放送中です。番組は心とからだの健康をテーマとした内容になっておりますので、是非ご聴取ください。

【2月放送予定】 ※番組内容は、都合により予告なく変更する場合があります。

放送日	出演者	テーマ
3日	泌尿器科部長/土井 裕	・ 尿路結石症について
10日	内科 循環器担当部長/中尾 伸二	・ 高血圧について
17日	外科 内視鏡外科・ 上部消化管担当部長/仲本 嘉彦	・ 内視鏡外科手術について
24日	外科 肝胆膵担当部長/生田 真一	・ 膵臓の病気について

(5) 兵庫県赤十字血液センター主催の献血を下記の日程で行ないますので、ご協力をお願いします。



- ・日時：2月27日(火) 14:00~16:30
- ・場所：受付・問診・・・正面玄関東詰(風除室東側)
- ・採血：正面玄関前ロータリー(南館寄り)

(編集発行人 事務部長 沖田 明弘)